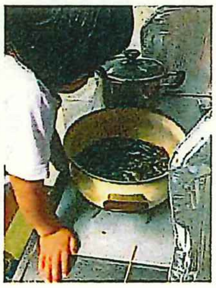
別記様式第５号（６の２関係）〔１枚目〕

佐久市佐久っと支援金事業　自己評価報告書

		評価日	３ 年 １ 月 29 日
団体名	ド根性　さくっこ事業　～　笑顔　SaKu　体験から学びへ　～		
事業名	ＳａＫｕ　Ｋｉｄｓ　応援隊		
対象経費	662,883 円	支援金交付対象経費	594,883 円
支援金額	297,000 円		

事業の目的・内容	目的 ＜事業の目的＞ 佐久地域の子ども達へ、地域の魅力を体験及び作業を通じ、年齢問を越えたコミュニティーの創出・　休耕田畑を再生、命の大切さを伝える。 佐久の食文化を次世代へ伝える。
	内容 近隣の小学生・保育園園児には、休耕水田を再生するところから、関わってもらい、水田の仕組み、小鮒を産卵➡ふ化➡幼魚➡成魚までの過程を実際五感で感じ、今学校等で学べ無い唯一無二の体験を行う。

事業の活動実績	令和2年8月4日公布決定通知　　水田周辺除草作業実施 毎日小鮒への餌あげ、水量調整確認を行った。 事業参加を地域小学校・保育園・幼稚園への依頼をお願いいたしましたが、 本年度はコロナウイルスの影響もあり、参加が厳しいとの返答であった。 8月9日　水田周辺除草作業、害鳥駆除設置実施 8月13日　水田周辺除草作業実施 8月14日　水田周辺除草作業実施　5人程度 8月16日　水田周辺除草作業実施 8月23から29日　小鮒水揚げ後に泥抜きを行う水槽の組立設置を行う 8月30日　初回小鮒水揚げを20名程度にて行いました。 8月30日以降　鮒水揚げを20名程度にて行いました。 9月4日　2回小鮒水揚げを2～3名程度にて実施 9月6日　地元岩村田商店街にて活小鮒販売　大人10名　子供10名 10月4日　水田整備実施 10月11日　水田整備実施 10月19日　水田整備実施 10月25日　水田整備実施 11月8日　水田整備・片付け 11月15日　水田整備・片付け 11月22日　水田整備・片付け



別記様式第５号（６の２関係）〔２枚目〕

事業の成果・効果	年々休耕中の田畑は多く、地域の資源を持続し次世代に伝える必要がある中、佐久地域では古くから水田を利用し小鮒の養殖を行っており、本事業で年間通じての経験の無い苦労と、多くの方にご指導頂き年間通じて多くの学びが出来ました。 実際取組んだ中で平均年齢40歳程度のメンバー中心に行ってきましたが、水揚げや、出荷時には心身ともに大変さがわかりました。 生きた魚を生きたまま出荷する知恵や技術を身に染みて感じたところであります。 本年は新型コロナウイルスの影響もあり保育園、幼稚園、学校へのお声がけをしたものの関わることが出来ず、メンバーが地域の子供たちに参加を促して頂き、佐久の小鮒の伝統を実体験してもらうことが出来ました。 販売については子供たちが販売方法など、自分たちで考えお客様へ直接小鮒を手渡すなど自分たちが育ててきた事が形になって表れて保護者からもよい経験が出来自宅に帰ってからも家族に報告するなど自己成長がみられたとのお話を頂きました。 販売以外の小鮒は自宅に持って帰り親子で初めての小鮒料理にも挑戦して頂く事が出来ました。 そして４月時点では、コロナウイルスによる学校生活は過去に経験したことのない時間を過ごしています。この局面に子供たちはどう過ごす事ができ、参加頂いた皆様にはすべてが初めての経験と感動笑顔を与える事が出来ました。 参加頂いた子供と共に成長できた事は、家庭や地域、学校などの生活の場で自ら考え行動していける人へと大きく成長できた一年でありました。 初めての取組を行いました。休耕田の再生を始め経験の無い苦労と、多くの方にご指導頂き年間通じて改めて深く感謝いたします。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	１　できた　（２　概ねできた）　３　あまりできなかった　４　ほとんどできなかった 自己評価を記入 事業全体では出来たと感じております。新型コロナウイルスの影響もあり、園児小中学生の参加出来なかった為、メンバーが声をかけた地域の子供たちが多数参加して頂きました。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	１　できた　（２　概ねできた）　３　あまりできなかった　４　ほとんどできなかった 自己評価を記入 効果を上げることが出来たと感じております。 地元佐久地域の子供たちには佐久伝統の小鮒の養殖、飼育の過程、伝統食文化を実体験して頂く事が出来た。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	１　ほとんど同じ　（２　多少の変更があった）　３　大幅に変更している 主な理由（２、３と答えた場合のみ） コロナウイルス、自粛生活の中、参加者募集が出来ませんでした。水田に水を張り養殖過程にて大量の藻が発生し、指導頂いている方よりアドバイスを頂き、水田の田起こしを追加にて実施致しました。　また水田の水勾配がうまく取れていたいため、収穫、水抜がうまく行かず委託料が増えてしまいました。
	その他、評価すべき点等	

※　自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	令和３年につきましては、事業を唯一無二の経験を多くの子供達に経験をして頂きます。 事業実施に伴い水田環境整備が必要であり整備を行って参ります。 また、参加者を増やしていけるように人から人へのネットワークを広げ取組みます。 水田の水勾配の改善を行い収穫時の小鮒への負担を減らしていきたい。 収穫後の小鮒への泥抜きを実施できる場所を整備して行きたい。 本年度実施し環境変化に少しでも対応できるように整備してまいります。